

Weekly Report



名古屋アイリスロータリークラブ

例会日	水曜日13:00～14:00	会長	岩崎幸弘
例会場	ANAクラウンプラザ グランコートホテル名古屋	幹事	加藤正広
承認	2013年6月18日	公共イメージ 向上	深見礼子



2019～2020年度名古屋アイリスRCのテーマ

アイリスは 希望に満ちて 新時代
～前途洋々～

●お問い合わせ：office@nagoya-iris-rc.jp

●公式WEBサイト：http://www.nagoya-iris-rc.jp

第293回 ガバナー公式訪問 合同例会

名古屋東急ホテル 4階 雅の間

2019年10月24日(木)18:00～19:00

- 司 会 鳥原久資君(名古屋葵 RC)
君が代 奉仕の理想
- 斉 唱 ソングリーダー
田中利幸君(名古屋葵 RC)
- 点 鐘 吉田龍宏会長(名古屋葵 RC)
- 出席報告 出席者数 17名 / 34名
出席率 50.0%
- ゲ ス ト 第2760地区 ガバナー 伊藤靖祐様
第2760地区 地区幹事 南村朋幸様

■本日は、国際ロータリー第2760地区ガバナー 伊藤靖祐様並びに同地区幹事 南村朋幸様をお迎えしての名古屋北RC、名古屋葵RCとの3RC合同ガバナー公式訪問です。

乾 杯

東名古屋分区元ガバナー補佐、名古屋葵ロータリークラブ会長エレクト藤田義明 様



名古屋葵ロータリークラブの藤田でございます。本日は、伊藤靖祐ガバナー、南村朋幸地区幹事には、名古屋北、名古屋アイリス、名古屋葵の

3ロータリークラブ合同のガバナー公式訪問例会によるこそお越し下さいました。

公式訪問はガバナーと会員が触れ合う大事な機会です。皆さまどうぞ、伊藤ガバナーと接触されて、懇親を深めることをお願いいたします。

それぞれのクラブが今年1年、それぞれの会長のもと活発な活動と楽しいクラブ活動に努められますようによろしくお願ひしたいと思います。そして本日ここにご参会の皆さまのご健勝とご多幸を祈念して乾杯をしたいと思いますので声高らかにご唱和をお願いいたします。乾杯！

会 長 挨拶

名古屋北ロータリークラブ会長 安部 隆俊 様



本日は第2760地区伊藤靖祐ガバナー、南村朋幸地区幹事をお迎えし、名古屋葵・名古屋アイリス・名古屋北の3クラブ合同ガバナー公式訪問例

会が開催されますこと大変喜ばしく思います。また名古屋葵ロータリークラブの皆様には例会を設営いただきましたこと感謝申し上げます。先程は、3クラブ合同の会長・幹事懇談会が開催され、伊藤靖祐ガバナーから大変貴重なご意見をいただきました。今後のクラブ運営や奉仕活動に役立たせていただきたいと思います。また本日の卓話を楽しみにしております。

さて、マーク・ダニエル・マローニーRI 会長提唱のテーマは「ロータリーは世界をつなぐ」です。その活動方針は「ロータリーの成長」を強調事項とされています。そこで伊藤ガバナーが掲げられた地区活動方針は「グローバルに考え地域社会とつながりロータリーを成長させよう」とされ、ロータリークラブの公共のイメージや例会そして奉仕の在り方を見直す必要性を説かれておられます。当ロータリークラブは創立60周年の節目を迎え新たな1年をスタートしております。仲間が同じ価値観を共有し魅力ある例会を作り、一人一人が積極的に参加し行事の充実をはかり友情を深め、ロータリーの楽しみや奉仕活動での感動や喜びを伝え会員増強にも勉め、誠実で思いやりのある奉仕を実践していきたいと考えています。

今年度が始まって約4ヶ月弱が過ぎようとしていますが、8月には当クラブ例会にマーク・ダニエル・マローニーRI 会長が訪問されたことは誠に光栄でありました。また、姉妹提携クラブや他クラブとの交流、養護施設への支援、奉仕プロジェクトへの参加などに積極的に取り組んでまいりました。諸先輩が積み上げてこられた歴史を振り返り、またこれからの未来を見据えて魅力ある例会作り、更により良いクラブ運営を目指していきたいと考えています。

皆様と共に培ってきた「つながり」を大切に奉仕の

理念に基づいて地域社会の安寧と発展・世界平和の為、実り多いロータリー活動を実践してまいります。簡単ではございますが会長挨拶とさせていただきます。

会長挨拶

名古屋アイリスロータリークラブ会長 岩崎 幸弘 様



今日は、伊藤靖祐ガバナー、そして南村朋幸地区幹事をお迎えしての、3クラブ合同例会でございます。みなさまたいへんご苦勞様です。

先ほど 17 時よりの会長幹事懇談会が行われ、先月 9 月の、ガバナー補佐訪問に引き続き、諸先輩方の貴重なご意見を賜り、仕事とロータリー活動にますます邁進せねば・・・と勇気づけられました。心より感謝を申し上げます。また、本日の例会を設営から運営までご尽力頂きました名古屋葵ロータリークラブの皆様には、心よりお礼を申し上げます。

さて、私たち名古屋アイリスロータリークラブは、今年 7 年目＝ラッキーセブンの良き時期を迎えておりますが、ややもすると自分たちでなんでも知っている、なんでもわかっているかのように振る舞い始めるやっかいな時期であることも自ら自覚するところがございます。

新しい伝統を作り始めている中、まだまだ発展途上のクラブではありますが、失敗もあり、間違いもあるうかと思えます。ぜひ周りの皆様方より あたたかいご指導 厳しいご指摘をいただきたいと存じます。

また、今年度は市内 25 ロータリークラブ社会奉仕委員長会議の主幹も仰せつかり、社会奉仕委員長を中心に 一丸となって、お役目を果たすべく全力で挑んでおります。経験の少ない私たちには、起きてくるすべての事が学びであります。

本年度の国際ロータリーのテーマは、「ロータリーは世界をつなぐ」。人と人とがつながることで、心豊かな人生となります。人生の糧となるようなロータリー活動を 心して行って参りたいと思えます。令和という新時代をむかえましたが、この 9 月、10 月に列島を襲った台風 思いもよらない自然の脅威に只々驚くばかりです。それでも 未来に希望をもって お互い助け合い、グローバルに考え、そして地域社会とつながっていく！

伊藤ガバナーの地区方針を具現化すべく皆で頑張っていくことが重要です。とにかく「やるかやる！」です。

簡単ではございますが、名古屋アイリスロータリークラブ会長挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

会長挨拶

名古屋葵ロータリークラブ会長 吉田 龍宏 様



みなさんこんばんは。そして、伊藤ガバナー並びに南村地区幹事には、お忙しい中公式訪問としてご来訪いただき誠にありがとうございます。心より歓迎申し上げますとともに、

今日は伊藤靖祐ガバナーより卓話をいただくこととなっておりますので、楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひいたします。また、名古屋北・名古屋アイリス両クラブの皆様には、今回合同の公式訪問例会のホストの経験が少ない当クラブのホストでございますので、行き届かないところが多々ございますが、何卒親兄弟クラブの友情にてご容赦賜りたく存じます。

さて、ご存知の方もいらっしゃると思いますが、私は職業分類が「保育園」で現在認定こども園を運営させていただく「保育」の業界におります。そのため、伊藤靖祐ガバナーとは同じような仕事の世界にいらしていただくことから、私の父もお世話になり、今年度は私自身が会長として先生のご助力をいただくこととなりました。みなさんご承知の通り、私たち会長になる前に、諸々研修会があり伊藤ガバナーとお会いし、またお話をお聞きする機会があったのですが、ガバナーのお人柄と同じような世界で仕事をするものとして、私自身が勝手に親しみと尊敬の念を抱いておりました。これまでの方が同行ではないのですが、自分自身が研修会などに参加していないと、毎年のRIや地区の方針についての意識や理解がどうしてもおろそかになってしまいがちで、大変反省しなければならぬ実態がありました。そんな私のようなものが聞いても、ガバナーのRI会長方針の説明や今RIで何が考えられているのか、そしてガバナーとしてどのような思いでこれからのロータリーを考えるのかというお話は、パワーポイントも活用され、とても心に入ってくるものがございました。

会長エレクト研修の際に伊藤ガバナーが多くのことをお話になられたのですが、私の心の中に特に響いたのは「デザイン」という言葉でした。みなさんご承知の通り、「グローバルに考え、地域社会とつながり、ロータリーを成長させよう」という地区方針のサブテーマ「ポスト平成のクラブをデザインする」に出てくる単語であります。

顧みれば、私たちのクラブは会員数が減少し、まさにこれからクラブをどうしていくのか、どのようなクラブにしていくのか、クラブの将来をどのように考えるのかといったことを会員全員で考えていかなければならない状況となっております。そのため、親愛なるガバナーの言葉をいただいて「葵ロータリークラブをデザインしよう」を今年度のクラブ運営方針として掲げました。

また、マローニRI会長の「ロータリーは世界をつなぐ」という方針を参考にして、今年度の取り組みの柱を4つのコネクトとしてまとめました。その中の一つに世界とのコネクトがあります。少人数のクラブのため大きなことはできませんが、国連のSDGsの普及啓発に取り組むべく、ザンビアのバナナペーパーで作った名刺に17のゴールのロゴを印刷し、併せてバッチを着用することに取り組んでいます。どうぞ、当クラブの会員と名刺交換していただき、ご覧いただければと思います。本日はよろしく申し上げます。

卓 話

国際ロータリー第 2760 地区 ガバナー
伊藤 靖祐 様



米国のサンディエゴで行われたガバナーエレクト研修で、マローニRI会長の90分の講義がありました。それを4分にまとめたDVD映像を基に以下の

卓話を頂戴致しました。

【要旨】 ガバナーエレクト研修で何回も繰り返されたワードがあります。一番はコネクト(Connect)です。繋がる事がロータリーの礎だという事です。2番目は、トランスフォーム(Transform)、変形する、形を変えろという事です。これからも変形して持続可能な組織であり続けるという事です。三つ目がインスパイア(Inspire)、鼓舞し、盛り上げ、社会にインパクトを与えていこうという事です。そして Together です。ロータリーは、みんなと一緒にやろうよという事です。これが一番大事だと私は思います。私は、現状分析をし、何をしなければいけないのかを考えて「グローバルに考え、地域社会とつながり、ロータリーを成長させよう」という地区方針を掲げました。

皆さんで、これからどういうクラブにしていきたいのか、クラブをデザインしてください。この人口ピラミッドの図が示すように、日本は確実に少子化、高齢化、人口減少が起きている。その上で各クラブのデザインをしてください、という事です。では、どのようにデザインしていくのか、その方向性を示すためのベースとして、私は二つの言葉を選びました。「知的多様性」と「革新的柔軟性」です。ロータリーは多様性と柔軟性が大事だと言われます。クラブの在り方、例会の在り方等を柔軟に考えましょう、という事です。そして、クラブの在り方を考える時には革新的に考えないといけない。この革新的という事が大事です。では、何でも変えればいいのかと言うと、そうではありません。不易と流行があり、変えてはいけないものがあります。ロータリーの基本理念です。それは、中核的価値観、ビジョン声明、それを具体的に展開する戦略計画です。中核的価値観とは、親睦・

高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップです。若い人を育ててください。リーダーシップを取れる人間を作るというのがロータリーの目的です。リーダーシップを取れる人間を育てて頂き、10年後も輝けるクラブでありますように祈念して私の卓話とさせていただきます。

会長・幹事懇談会

ガバナー公式訪問に先立ち会長・幹事懇談会が行われました。

